

平成 22 年度	<b>事業概要・評価シート</b>	事業番号	1
事務事業名称	パースコントロール補助金交付事業 (犬・猫の避妊手術費用補助)	担当部名	市民生活部
		担当課名	生活環境課
事業の種別	<input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度	担当者(内線)	宮之上 1389

### 1 事業の位置付け

総合計画	第 編 第 章 第 節	市長マニフェストの記載	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
実施計画事業名	個別計画等の名称		
予算事業名	飼犬管理事業費	会計-款-項-目	一般会計 款 4 項 1 目 7
主な予算内訳	補助金		

### 2 事業の概要

根拠法令等	長野県動物愛護会上小支部が定めるパースコントロール事業実施要領(犬・猫の避妊手術費用補助)	実施期間	始 終	H13
実施方法	<input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助交付金(交付先: 長野県動物愛護会上小支部) <input type="checkbox"/> その他( )			
目的 (何のために)	飼育している犬・猫の避妊手術を希望する飼い主の手術費用の一部を補助することで、不幸な子犬、子猫の出生並びに捨て犬、捨て猫の防止を図り、適正な飼育と動物愛護の意識の普及啓発を図る。			
対象 (誰・何を対象に)	上田市に居住し、避妊手術希望する犬及び猫の飼い主。 犬は、登録と狂犬病予防注射を実施済みであることを条件としている。			
内容 (手段・手法等)	長野県動物愛護会上小支部が主催する飼い犬及び飼い猫に対する避妊手術補助事業に対して、長野県獣医師会上小支部、上田市、東御市、長和町、青木村で実績に応じて、その費用の一部を補助する。 補助額 メス 5,000円/頭、オス 3,000円/頭 実施時期 6月、10月			
必要性	飼い主に対し避妊手術の普及啓発を進めていく。 手術費用が体重に応じて20,000円から50,000円と高額のため、手術費用の一部を補助することにより、できるだけ避妊手術を受ける個体数を増やしていく。 のら猫の糞尿等によるトラブルの原因を減らしていく。			
事業の背景 (これまでの経緯等)	平成12年度までは、長野県動物愛護会上小支部が主体で犬・猫の避妊手術の補助をしてきており、平成13年度から、関係自治体でも費用の一部を負担することで事業の推進を図ることとした。			
庁内分権の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁のみで実施 <input type="checkbox"/> 地域自治センターで実施(本庁決裁有) <input type="checkbox"/> 地域自治センターで実施(センター内決裁のみ) <input type="checkbox"/> その他( )			

### 3 事業費

(単位: 千円)

	全体事業費	H20年度 決算額	H21年度 決算額	H22年度 予算額	H23年度 計画
支出(直接経費) (A)	0	549	518	565	554
(内訳)					
その他( 補助金 )		549	518	565	554
収入	0	549	518	565	554
(内訳)					
国県支出金					
地方債					
その他(使用料、負担金等)					
一般財源		549	518	565	554
概算人件費 (B)	0	113	113	113	113
(人員)					
正規職員	-	0.02	0.02	0.02	0.02
嘱託職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時職員	-	0.00	0.00	0.00	0.00
(内訳)					
正規職員 (7,300千円/人・年)	-	113	113	113	113
嘱託職員 (2,500千円/人・年)	-	0	0	0	0
臨時職員 (1,300千円/人・年)	-	0	0	0	0
事業コスト合計 (A+B)	0	662	631	678	667

#### 4 事業の効果をjるための活動計画・実績

概要	飼い犬及び飼い猫に対する避妊手術を希望する飼い主に対して、その費用の一部を補助することで、避妊手術を受ける犬、猫の個体数を増やし殺処分される犬、猫を減らしていく。			
指標名	単位	H20年度目標	H21年度目標	H22年度目標
避妊手術を受けた犬・猫の個体数		前年実績に応じて補助	前年実績に応じて補助	前年実績に応じて補助
指標名	単位	実績	実績	実績
避妊手術を受けた犬・猫の個体数	頭	犬 雄 38、雌 44	犬 雄 17、雌 50	犬 雄 30、雌 40
		猫 雄 56、雌 125	猫 雄 55、雌 152	猫 雄 74、雌 152
		計 雄 94、雌 169	計 雄 72、雌 202	計 雄 104、雌 192
		合計 263	合計 274	合計 296

#### 5 活動実績による事業の效果

平成20年度	処分頭数 成犬 32頭    成猫 59頭 子犬 0        子猫 155頭 合計 32頭    合計 214頭
平成21年度	処分頭数 成犬 35頭    成猫 70頭 子犬 0        子猫 149頭 合計 35頭    合計 219頭

#### 6 現状の分析

必要性	事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 検討
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 大きい	<input type="checkbox"/> 小さい	<input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 調査未実施
	市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 薄れている	<input type="checkbox"/> 民間等に同種有り
公平性	受益者	<input type="checkbox"/> 全市民	<input checked="" type="checkbox"/> 多数の特定市民	<input type="checkbox"/> 少数の特定市民	<input type="checkbox"/> 地域性有り
	受益者負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 公平	<input type="checkbox"/> 検討
有効性	目的の達成状況	<input type="checkbox"/> 計画以上に達成	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり達成	<input type="checkbox"/> 一部達成	<input type="checkbox"/> 未達成
	受益者満足度	<input type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> 低い	<input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 未調査
効率性	他自治体等との比較	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 同程度	<input type="checkbox"/> 低い	<input type="checkbox"/> 未調査

#### 7 その他

市における類似事業(担当課)	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
事業を廃止したときの影響	飼い主のいない猫の繁殖がさらに増え、致死処分される個体数の増加が懸念される。糞尿等による苦情などトラブルが増加する。
課題と今後の方向性	犬は登録制のため比較的管理され、東信地域で見ると処分頭数は減少傾向にあるが、猫はあまり減少していないので、猫の処分頭数をできるだけ減らすためにも、飼い主に対して継続して避妊手術を受けていただくよう啓発していくことが重要。また、野良猫の対策も検討していく必要がある。
特記事項(留意事項等)	長野県獣医師会上小支部、長野県動物愛護会上小支部、上田市、東御市、長和町、青木村が実績に応じて費用を負担する形で事業を実施している。

#### 8 第1次評価(担当課による自己評価：今後の方向性)

<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 非常勤職員化	<input type="checkbox"/> 市民協働の推進	<input type="checkbox"/> 歳入確保
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 業務委託化	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 指定管理者化	<input type="checkbox"/> 期限の設定	<input type="checkbox"/> 施設・設備の改善
<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理見直し	<input type="checkbox"/> 事業の効率化	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 他事業と統合	<input type="checkbox"/> 民間企業・NPO等主体	<input type="checkbox"/> 地域内分権推進	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 移管・譲渡	<input type="checkbox"/> 市民(自治会等)主体	<input type="checkbox"/> 庁内分権推進	<input type="checkbox"/>
第1次評価の概要	避妊手術費用を補助することで、飼い主の動物愛護意識を高めていく効果が期待できると考える。また処分されたり、捨て犬や捨て猫を増やさないためにも、一定の補助は必要と考える。		

9 第2次評価(行政改革推進室：今後の方向性)

<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 非常勤職員化	<input type="checkbox"/> 市民協働の推進	<input type="checkbox"/> 歳入確保
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 業務委託化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 指定管理者化	<input checked="" type="checkbox"/> 期限の設定	<input type="checkbox"/> 施設・設備の改善
<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理見直し	<input type="checkbox"/> 事業の効率化	<input type="checkbox"/> 補助金の見直し
<input type="checkbox"/> 他事業と統合	<input type="checkbox"/> 民間企業・NPO等主体	<input type="checkbox"/> 地域内分権推進	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 移管・譲渡	<input type="checkbox"/> 市民(自治会等)主体	<input type="checkbox"/> 庁内分権推進	<input type="checkbox"/>
仕分けの視点	目的達成のための事業手段のあり方		
実施目標年度	平成 24 年度	方向性	実施手法の見直し
第2次評価の概要	<p>飼い犬・飼い猫の管理は、本来飼い主の責任であり、避妊手術についても飼い主の自己負担が原則と考えるが、現状の処分頭数を見ると行政としても対応は必要である。また、野良犬、野良猫化防止のためにも対策は必要である。</p> <p>本事業の目的が市民の動物愛護意識の啓発であることを考えると、単に補助事業のみでなく、市民への意識改革、地域での活動への支援対策も検討する必要がある。</p> <p>また、個体抑制の面でも効果をあげるためには、補助対象を猫への特化や年度目標を設定した補助制度への見直しも検討する必要がある、関係団体と協議を進める必要がある。</p>		